

令和2年度

事業報告書

社会福祉法人 長野社会福祉事業財団

スリハートの丘

ふれあいの丘

クローバーの丘

長野こども学園

あゆみ保育所

令和2年度事業報告

A. 事業活動【事業財団全体】の概要

本年度のサービス活動収益は1,544,794千円で前年度より49,769千円増、サービス活動費用は1,436,955千円で前年度より8,790千円増となりました。サービス活動費用のうち人件費は953,126千円で前年度より16,240千円増となり、その他費用につきましては483,829千円で前年度より7,449千円減となりました。

この結果、サービス活動増減差額は107,839千円で前年度より40,979千円増、経常増減差額は103,683千円で前年度より40,195千円増となりました。

本年度の介護部門における事業活動の特記事項及び前年度との差異は次のとおりであります。

第1 サービス活動収益の増は、ふれあいの丘ショートステイを年間を通じて運営してきたこと及びデイホーム寺ヶ池がご利用者様のご家族様及び医師をはじめとして関係の皆様のご理解を得られ好調に運営できたこと等の結果であります。

第2 サービス活動費用のうち、人件費の増は主としてふれあいの丘ショートステイの年間通じての稼働に伴うものであります。

長野こども学園は、「認定こども園」として3年目になり、年間を通して順調に運営でき、経常増減差額も昨年度を上回ることができました。

なお、本年度は新型コロナウイルス感染蔓延の中で、各施設とも職員が率先して手洗い・マスクの着用など感染予防に努め、ご利用者様及び保育園児様ならびに職員とも新型コロナウイルスに感染することなく乗り切ることができました。

ただ、介護においてはご家族様との対面による面会を制限せざるを得ず、ご利用者様及びご家族様にご不自由をおかけすることになり、今後の対応の検討が必要であります。

B. 事業活動【各施設】の概要

1) スリーハートの丘

(1) スリーハートの丘事業活動

令和2年度は、スリーハートの丘が平成29年の移設兼増床に始まり、グループホームの設立や特養とショートステイの定員変更等がありました。令和2年度と前年度に関して変更無く稼働した年となります。令和2年度のサービス活動収益は628,510千円で、前年度差16,909千円増となりサービス活動増減差額は37,839千円と前年度差19,266千円となり増収増益となりました。理由として特養の安定的な収益とデイホーム寺ヶ池の稼働が

上がった事が1番の要因となります。

(2) サービス区分ごとの概要

- ① 特養は、令和2年度の1日平均目標ご利用者様数が目標の86.4名に対して86.5名の結果となりました。結果サービス活動収益が458,961千円にて前年度差5,958千円増、人件費は258,108千円にて前年度差▲630千円、サービス活動増減差額は51,889千円となり、前年度差10,411千円増の結果となり増収増益となりました。
- ② ショートステイは、令和2年度の1日平均の目標ご利用者様数は、8.8名に対して8.9名の結果となりました。結果サービス活動収益が45,468千円にて前年度差145千円となり、人件費は28,521千円にて前年度差▲1,761千円となり、サービス活動増減差額は480千円と前年度差1,163千円となり、増収増益となりました。
- ③ グループホームは、入居者様の1日平均目標は17名に対して17.1名、通所に関して1日平均目標3名に対して2.1名の結果となりました。結果サービス活動収益は92,631千円となり前年度差3,159千円増、人件費は63,517千円にて前年度差3,485千円増となり、サービス活動増減差額は676千円にて前年度差488千円増となり増収増益となりました。
- ④ デイホーム寺ヶ池は、1日平均目標6.7名に対して7.1名の結果となり、前年度平均5.5名からすると稼働増となり、理由として心療内科医師より信頼を頂き紹介件数を多くいただいた事等が挙げられます。結果サービス活動収益は31,310千円となり前年度差7,709千円にて、人件費は20,687千円にて前年度差452千円にて、結果サービス活動増減差額は3,189千円となり前年度差7,154千円となり増益増収となりました。

2) ふれあいの丘

(1) ふれあいの丘事業活動概要

本年度のサービス活動収益は249,922千円で前年より32,522千円増加しました。一方、サービス活動費用は227,973千円で前年より10,565千円増加しました。サービス活動費用のうち、人件費は151,369千円で前年より12,238千円増加となり、その他費用は76,604千円で前年より▲1,673千円と減少しました。

その結果、サービス活動増減差額は21,949千円で前年より21,957千円増加となり、増収増益となりました。

本年度の活動結果と前年実績との主たる差異要因は、令和1年8月年度途中で事業開始したショートステイが令和2年度は年間での収益として算出されていることが挙げられる。また居宅介護支援事業、地域包括・介護予防事業が増益になったこと。デイサービスのサービス活動増減差額はマイナスですが、前年よりも増収増益となったことも要因の一つです。

(2) サービス区分ごとの概要

- ① デイサービス（定員 25 名）は、年間利用者数は 5,060 人（1 日平均 16.3 名※前年 15.4 名）で前年より 276 人増加したことからサービス活動収益は 47,732 千円と前年より 3,049 千円増加しました。一方、サービス活動費用は人件費が減少したことから 49,595 千円と前年より▲722 千円となりました。その結果、サービス活動増減差額は▲1,863 千円と引き続き赤字ではあるものの前年より 3,771 千円増加して増収増益となりました。
- ② ショートステイ（定員 20 名）は、令和 1 年 8 月に新たに開始した事業のため令和 2 年度サービス活動収益は前年を大きく上回る。年間利用者数は 6,523 名（1 日平均 17.9 名）。平均稼働率は 89.5%と高いレベルを維持できた。サービス活動収益は 75,225 千円、サービス活動費用は 73,081 千円、サービス活動増減差額 2,144 千円となった。
- ③ 居宅介護支援事業（ケアプラン）は、月平均ご利用者数 269 名（要支援 57 名・要介護 212）名と前年より+4 名（要支援▲4 名・要介護+8 名）増えましたが新型コロナ感染拡大の影響で認定調査数が減少したためサービス活動収益は 44,811 千円と前年より▲274 千円と若干減少しました。一方サービス活動費用は 33,287 千円と前年より▲2,782 千円減少しました。その結果、サービス活動増減差額は 11,524 千円で前年より 2,508 千円増加し、減収増益となりました。
- ④ 地域包括・介護予防（河内長野市中部包括支援センター）は河内長野市からの委託事業です。令和 2 年度は相談件数 2,030 件と前年より 104 件増えました。また新型コロナ感染拡大により地域活動が制限されていたため、一人暮らしの高齢者の安否確認を電話で行い必要に応じて訪問しました。サービス活動収益は 77,982 千円となり前年▲234 千円と減少しました。一方、サービス活動費用は、65,454 千円となり前年▲2,231 千円と減少しました。その結果、サービス活動増減差額 12,528 千円で前年より 1,997 千円増加し、減収増益となりました。
- ⑤ 配食事業は河内長野市からの委託事業であり、年間配食数が 4,849 件で前年より▲20 件であったことから、サービス活動収益は 4,171 千円となり前年より▲108 千円となりました。一方、サービス活動費用は 6,556 千円と前年より 348 千円増加しました。その結果、サービス活動増減差額は▲2,385 千円で前年より▲456 千円となり、減収減益となりました。

3) 養護老人ホーム（定員 60 名）

本年度のサービス活動収益は 126,194 千円と前年より▲8,862 千円と減少しました。一方、サービス活動費用は 134,434 千円となり前年より▲434 千円となりました。サービス活動費用のうち、人件費は 60,280 千円で前年より 4,085 千円増加し、その他費用は 74,154 千円で前年より▲4,519 千円とな

りました。その結果、サービス活動増減差額は▲8,240千円（前年▲8,428千円）と減少し、減収減益となりました。

本年度活動収益の前年実績との主たる差異要因は、平均入所者数が令和2年度53.3名と前年（53.0名）より若干増えたものの職員勤続年数が令和元年度に比べて令和2年度が減少した結果、措置事業収益が令和元年度一人1か月当たり195千円から令和2年度は180千円になったことで上記差異が生じています。

4) クローバーの丘

(1) クローバーの丘事業活動

本年度は令和1年度のサービス活動増減差額よりも増加することが出来ました。結果全体でサービス活動収入は292,007千円で前年度よりも4,349千円減、人件費は183,450千円で前年度より9,300千円減、その他支出は91,277千円で前年度より2,000千円増、サービス活動増減差額は17,280千円で前年度より2,951千円増となり、減収増益となりました。その主な理由としてデイサービスが要員を削減し、人件費減に伴い収益を改善できました。

(2) サービス区分ごとの概要

- ① 特養は1日平均27.8名（前年度28.4名）と目標（1日平均28名）を下回りました。結果サービス活動収入は156,148千円と前年度より2,224千円減、人件費は97,679千円と297千円減、その他費用は53,731千円で前年度より1,030千円減、サービス活動増減差額は4,738千円で前年度より897千円減となり、減収減益となりました。理由としては稼働が目標を下回りました。
- ② デイサービスは1日平均25.4名（前年度26.3名）と目標（1日平均27名）を大きく下回る活動となりました。結果サービス活動収入は67,797千円と前年度より1,906千円減、人件費は42,230千円で前年度より7,646千円減、その他費用は18,207千円で479千円増、サービス活動増減差額は7,360千円で5,261千円増となり、減収増益となりました。理由としては稼働目標に対しては下回り、令和2年4月5月に新型コロナウイルス感染による利用控えの影響がありました。令和1年度下半期に要員を見直し、令和2年度に令和1年度の上半期分の人件費が削減できました。
- ③ ショートステイは1日平均9.0名（前年度8.9）と目標（1日平均9名）としていた活動が出来ました。結果サービス活動収入は47,441千円で前年度より1,556千円増、人件費は25,581千円で前年度より1,066千円増、その他費用は16,735千円で2,372千円減、サービス活動増減差額は5,125千円で1,882千円減となり、増収減益となりました。ただ、前年度と大きく活動状況に変化はありません。
- ④ ホームヘルプサービスは1日平均17.2件（前年度20.8件）と稼働を下げ

ました。結果サービス活動収入は 20,621 千円と前年度より 1,775 千円減、人件費は 17,960 千円と 2,423 千円減、その他経費は 2,604 千円で 179 千円増、サービス活動増減差額は 57 千円で前年度より 469 千円増となり、減収増益となりました。

5) 長野こども学園

令和 2 年度は、「認定こども園」としての 3 年目となりますが、4 月当初からコロナ感染拡大に伴い従来の保育の見直しが迫られ保育現場に混乱や戸惑いが生じる一年となりました。

園の運営面については、4 月から 6 月にかけてコロナ感染拡大防止のため家庭保育をお願いするに伴い、従来取り組んできた外部講師による指導「右脳教室」「体操教室」「太鼓指導」「造形指導」「スイミング」などの一時休止、年間を通して予定していた行事の中止や縮小、フリー参観の中止とするなどを止む無く決断することとなりました。こうしたコロナ禍の中、通常の保育ができない中での取り組みの一つとして“おうちえん”というサイトを利用した動画の配信を行いました。自粛期間中は家庭保育をお願いする中、保育士達がそれぞれ年齢に合わせて未満児は歌・手遊び・リトミック等の配信、以上児では保育士以外にも外部講師の協力も得た動画配信を行いました。また、フリー参観ができない代わりにこのサイトを利用し、普段の園内での生活の様子や行事を動画で配信しました。運動会やお楽しみ会などは 5 歳児のみ参観として園内で行い他クラスは動画にて配信をしました。

また、地域の支援として未就園児やその保護者への育児相談として“ふれあい保育”及び小学校、中学校に成長する過程において行き詰る声を多く聞く中、卒園児に対して“小学 6 年・中学 3 年生の同窓会への招待”なども本年度は取りやめとなりました。

会計においては、今年度も満 3 歳（1 号認定）以上の園児に対して保育料無償化により満 3 歳児（2 歳児）の 3 号から 1 号への変更及び 3 歳クラスから 5 歳クラスの 1 号認定の年間合計が 152 名でした。また保育士の確保が比較的上手くいき、加算が昨年度同様見込まれ、施設給付費は昨年度の約 10% 増の 158,194 千円となりました。しかし補助金の方では、昨年度より約 9% 減の 9,520 千円、また保育料も満 3 歳児（3 号除く）から 5 歳児までの保育料無償化により保育料収入は昨年度に比べ約 45% 減の 14,462 千円となりましたが、サービス活動収益は前年度より約 5,000 千円増の 189,709 千円となりました。サービス活動費用では人件費は約 4,324 円増でありましたが、他支出が前年度より抑えることができたためサービス活動費用の合計としては前年とほぼ同額となりました。その結果よりサービス活動増減差額は昨年度より約 5,800 千円増となり、昨年より 5,000 千円増の 25,000 千円の積立をする事となりました。理由としては 1 号認定の園児の確保また満 3 歳児（2 歳クラス）の 1 号

へ変更(別表)の働きかけと保育士確保による加算が多く見込まれたことによるものであります。

* 令和2年度 園児数の月別推移

	0歳児	1歳児	2歳児		3歳児		4歳児		5歳児		
			3号(2号)	1号	2号	1号	2号	1号	2号	1号	
4月	15	20	23	0	21	5	24	3	22	1	134
5月	15	20	23	0	21	5	25	2	22	1	134
6月	15	20	22	1	21(内1)	5	25	2	22	1	134
7月	15	20	22	2	21	4	25	2	22	1	134
8月	15	20	19	5	21	4	25	2	22	1	134
9月	15	20	18	6	21	4	25	2	22	1	134
10月	15	20	18	6	21	4	26	1	22	1	134
11月	15	20	17	7	21	4	25	2	22	1	134
12月	15	20	15	9	21	4	25	2	23	0	134
1月	15	20	13	11	21	4	25	2	23	0	134
2月	15	20	13	11	21	4	25	2	23	0	134
3月	15	20	13	11	21	4	25	2	23	0	134
	180	240	216	69	252	51	300	24	268	8	1608

()の内数は受託者

* 主たる実施行事

*は中止、太字は5歳児のみ行い、他年齢は動画にて個々に配信

4月	1日	入園・進級式	10月	3日	<u>運動会</u>
	21日	*4・5歳児春の遠足		13日	2・3歳児秋の遠足
5月	1日	子どもの日の集い	11月	25日	*ほのぼのフェスタ
	12日	*交通安全教室		6日	内科検診
6月	26日	眼科検診	12月	14日	*歌・踊・奏
	2日	*歯磨き指導		4日	*お餅つき
	5日	内科検診		12日	作品展
	11日	耳鼻科検診		18日	クリスマス会
7月	25日	歯科健診	1月	29日	節分の日の集い
	3日	七夕の日の集い	2月	13日	<u>お楽しみ会</u>
	11日	*夕涼み会	3月	16日	マラソン大会
31日	*お泊り保育	26日		ひな祭り会	
2日	<u>5歳児お別れ遠足</u>				
	13日	卒園式			

6) あゆみ保育所(大阪南医療センター内保育施設)

本年度のサービス活動収益は59,955千円で前年度より8,262千円増、サービス活動費用は51,405千円で前年度より8,679千円増となりました。サービス活動費用

のうち人件費は 43,370 千円で前年度より 4,721 千円増となり、その他費用につきましては 8,034 千円で前年度より 3,958 千円増となりました。

この結果、サービス活動増減差額は 8,549 千円で前年度より 417 千円減となりました。

本年度の事業活動のポイントは次のとおりであります。

(1) 令和2年 10 月から「24 時間保育」がスタートしました。

小さいお子様(卒乳から小学校就学前)をお持ちの看護師さんが夜間勤務をされる場合に、そのお子様をお預かりする保育(保育時間帯 15 時 30 分から翌朝 10 時)であります。

ただ、本年度は開始早々のため、令和3年度以降も周知を図っていく必要があります。

(2) 通常保育(昼間)については、令和元年度末で5名の保育士が退職したため、保育士の充足を図りましたが、人手不足の影響を受け、保育士の充足には本年5月初めまでの期間を要しました。

(3) 病児・病後児保育については、新型コロナウイルス感染蔓延の影響を受け、ご利用実績が前年度を下回りました。